

再評価結果（令和7年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：西川 昌宏

事業名	三陸沿岸道路 宮古～八戸 (一般国道45号(三陸沿岸道路)侍浜～階上)		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自：青森県三戸郡階上町大字道仏 至：岩手県久慈市侍浜町桑畑				延長	23.0km	
事業概要							
三陸沿岸道路（宮古～八戸）は、岩手県宮古市から青森県八戸市に至る延長約132kmの復興道路である。 侍浜～階上は、三陸沿岸道路の一部を形成し、青森県三戸郡階上町から岩手県久慈市を通過する延長23.0km、2車線の自動車専用道路である。							
H23年度事業化		H1年度都市計画決定		H24年度用地着手		H23年度工事着手	
全体事業費	約1,175億円		事業進捗率	約99%		供用済延長 23.0km	
計画交通量	7,400台/日						
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年 令和6年
	1.02 (0.6)	4.1%	37/10,509億円		35/10,674億円		
	1.1 (0.8) [2%]	(1.6%)	(事業費: 36/9,567億円)		(走行時間短縮便益: 30/9,150億円)		
	1.2 (0.98) [1%]		維持管理費: 1.2/816億円		走行経費減少便益: 4.5/1,163億円		
			更新費: -/126億円		交通事故減少便益: 1.2/361億円		
感度分析	(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)		
	0.95 (0.95)	3.8%	交通量	B/C=0.9~1.1 (±10%)		交通量	B/C=0.9~1.03 (±10%)
	1.4 (1.4) [2%]	(3.8%)	事業費	B/C=1.02~1.02 (±10%)		事業費	B/C=0.9~1.1 (±10%)
	1.8 (1.8) [1%]		事業期間	B/C=1.02~1.02 (±20%)		事業期間	B/C=0.9~1.01 (±20%)
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率 (渋滞損失時間: 23.7万人・時間/年、渋滞損失削減率: 約8割削減)							
②安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる (洋野町～岩手県立久慈病院 現況: 30分⇒整備後: 25分)							
③災害への備え ・岩手県地域防災計画において、当該路線が緊急輸送道路(第1次路線)に指定							
他5項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見							
○岩手県知事の意見							
1 「対応方針(原案)」案に対して異議ありません。							
2 三陸沿岸道路は、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築や迅速な救命活動、物流の円滑化・効率化、観光振興に資するなど、本県の復興や地方創生に欠かすことのできない社会基盤です。 ハーフインターチェンジのフルインターチェンジ化は、防災機能の強化や地域活性化等に資することから、コスト縮減にも配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。 本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。							
○以下の団体等から、三陸沿岸道路の整備促進について要望あり ・宮古市、八戸、久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会、岩手県商工会議所連合会							

